

2027年3月期 第1四半期 決算説明会

2026年8月5日

 山一電機株式会社

東証プライム 6941

ご説明内容

01 決算のポイント

02 2026年度 第1四半期業績結果

03 2026年度 業績予想

04 配当について

本説明資料内に記載の各事業名の略称について

事業名	事業名略称
テストソリューション事業	: <u>TS事業</u>
コネクタソリューション事業	: <u>CS事業</u>
光関連事業	: <u>OPT事業</u>

2027年3月期第1四半期決算

1. 四半期連結会計期間として売上高・営業利益・経常利益・純利益ともに過去最高を更新

売上高は前年同期比35.8%増、営業利益は同55.8%増となり、増益率が増収率を上回った

2. テストソリューション事業・コネクタソリューション事業がそろって好スタート

AI・データセンター、メモリー半導体、スマートフォン、産業機器向け需要が業績を牽引した

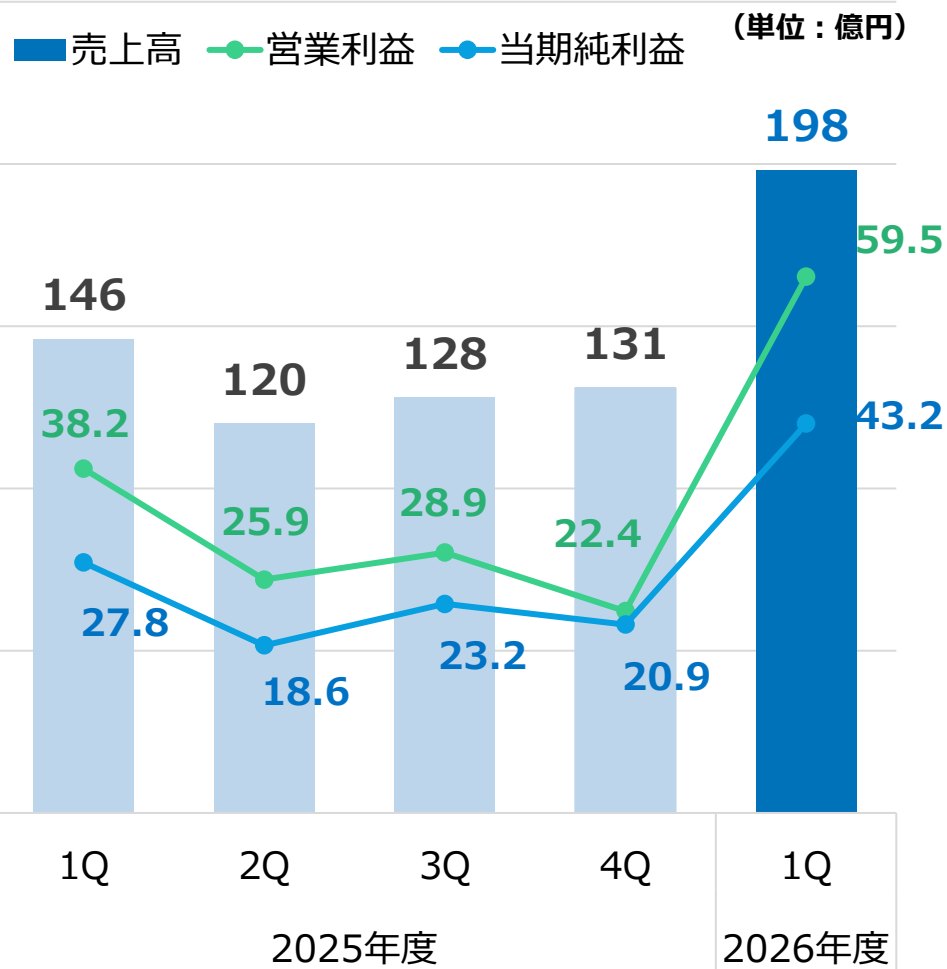
3. 好調な第1四半期と今後の需要見通しを踏まえ、業績予想・配当予想を上方修正

一方で、自動車市場の低迷、原材料価格、為替および通商政策の不透明感を引き続き注視する

業績結果

四半期連結会計期間として、売上高・各利益ともに過去最高を更新しました

(単位：億円)



	2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	前年同期比	前年同期比 増減率
売上高	146	198	52	35.8%
営業利益	38.2	59.5	21.3	55.8%
経常利益	37.7	61.6	23.8	63.0%
当期純利益	27.8	43.2	15.4	55.3%
EPS (円)	150.70	234.44	83.74	—
BPS (円)	2,134.13	2,658.17	524.04	—

為替レート	2025年度 1Q	2026年度 1Q	増減
USD (円)	144.59	159.49	14.90
EUR (円)	163.80	185.39	21.59

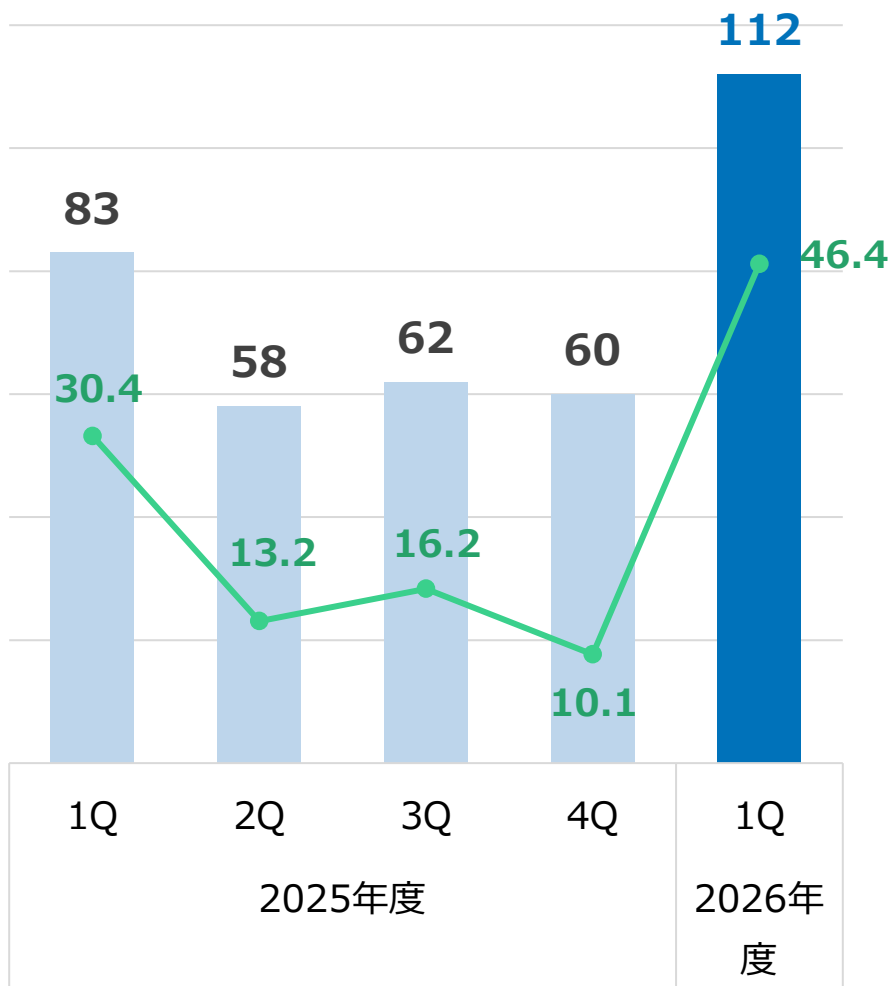
事業別業績結果

(単位：億円)

		2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	前年同期比	前年同期比増減率
TS事業	売上高	83	112	29	35.6%
	営業利益	30.4	46.4	15.9	52.5%
CS事業	売上高	59	82	23	39.3%
	営業利益	7.6	15.6	7.9	103.4%
OPT事業	売上高	4	3	▲ 0	-10.7%
	営業利益	0.6	0.4	▲ 0.2	-35.5%
その他	営業利益 (連結調整額)	▲ 0.5	▲ 2.9	▲ 2.3	—
合計	売上高	146	198	52	35.8%
	営業利益	38.2	59.5	21.3	55.8%

TS事業 業績結果

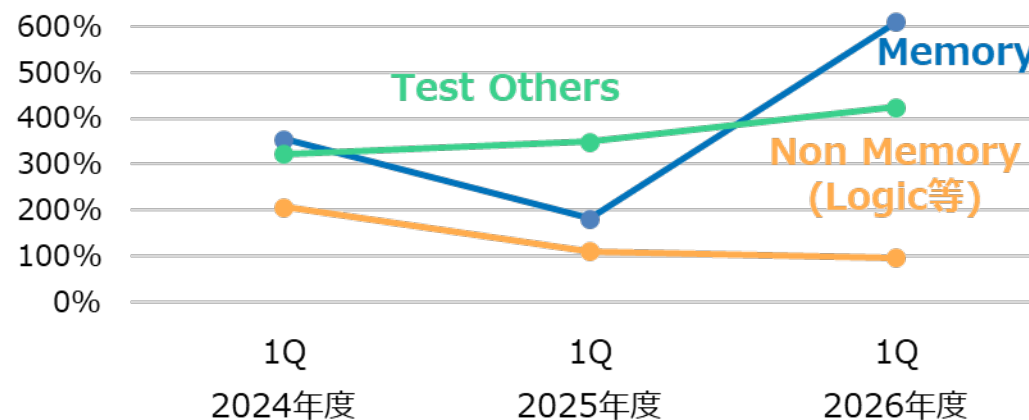
■売上高 ■営業利益 (単位：億円)



		2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	前年同期比	前年同期比増減率
TS事業	売上高	83	112	29	35.6%
	営業利益	30.4	46.4	15.9	52.5%

- テストソケット分野では、スマートフォン向けの出荷が計画を上回った他、ウェアラブル機器及び自動車向けの出荷も寄与したことで、売上高及び利益を押し上げました。
- バーンインソケット分野では、メモリー半導体顧客のライン増強に向けた投資を背景に出荷が好調に推移し、売上高及び利益を押し上げました。一方、ロジック半導体向けバーンインソケットは、自動車向けを中心に顧客の投資先送りの影響を受け、低調に推移しました。

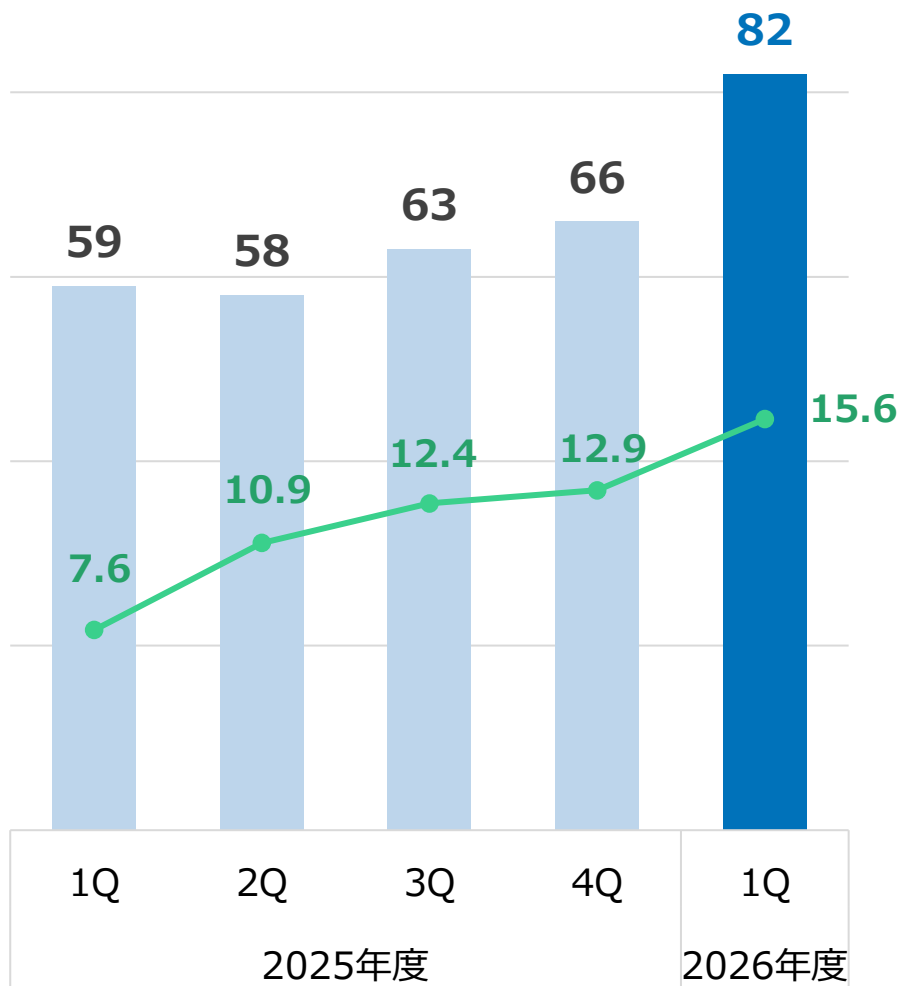
【2023年度1Q累計売上を100%としての推移】



CS事業 業績結果

(単位：億円)

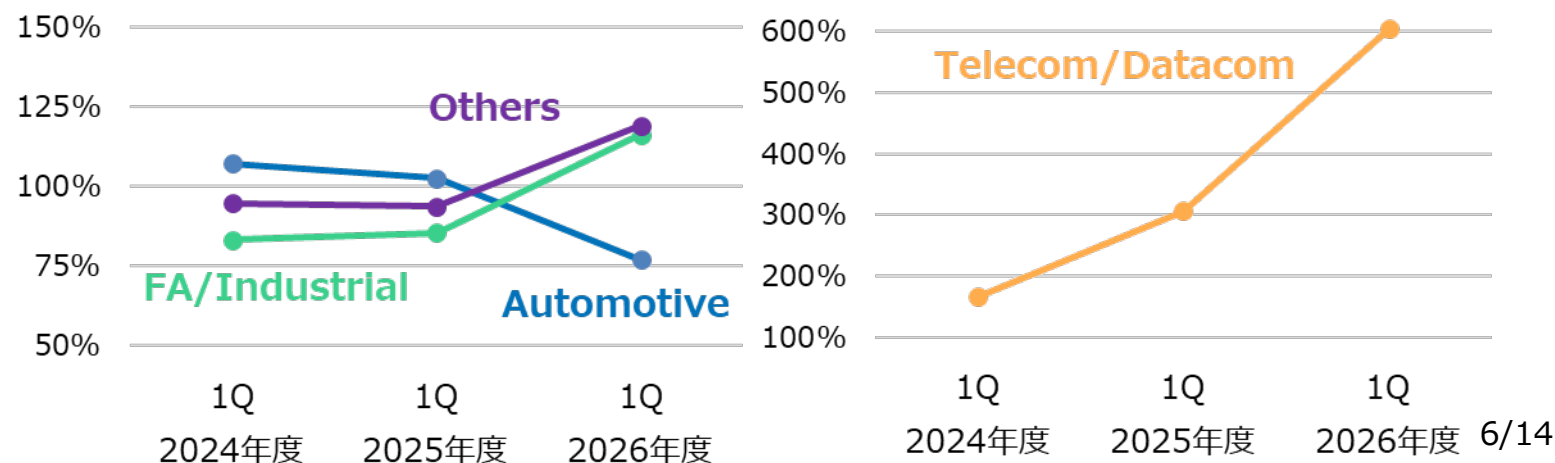
■売上高 ■営業利益



		2025年度 1Q実績	2026年度 1Q実績	前年同期比	前年同期比増減率
CS事業	売上高	59	82	23	39.3%
	営業利益	7.6	15.6	7.9	103.4%

- 通信機器向けでは、A I 関連を含むデータセンター向けの出荷が計画を大きく上回りました。また、基幹系通信機器向けの出荷も順調に進んだことで、売上高及び利益を押し上げました。
- 産業機器向けでは、主要市場である欧州顧客の出荷回復に加え、半導体検査装置向けの出荷も増加し、売上高及び利益を押し上げました。
- 車載機器向けは、EV市場の減速等の影響を受け、低調に推移しました。

【2023年度1Q累計売上を100%としての推移】



為替影響

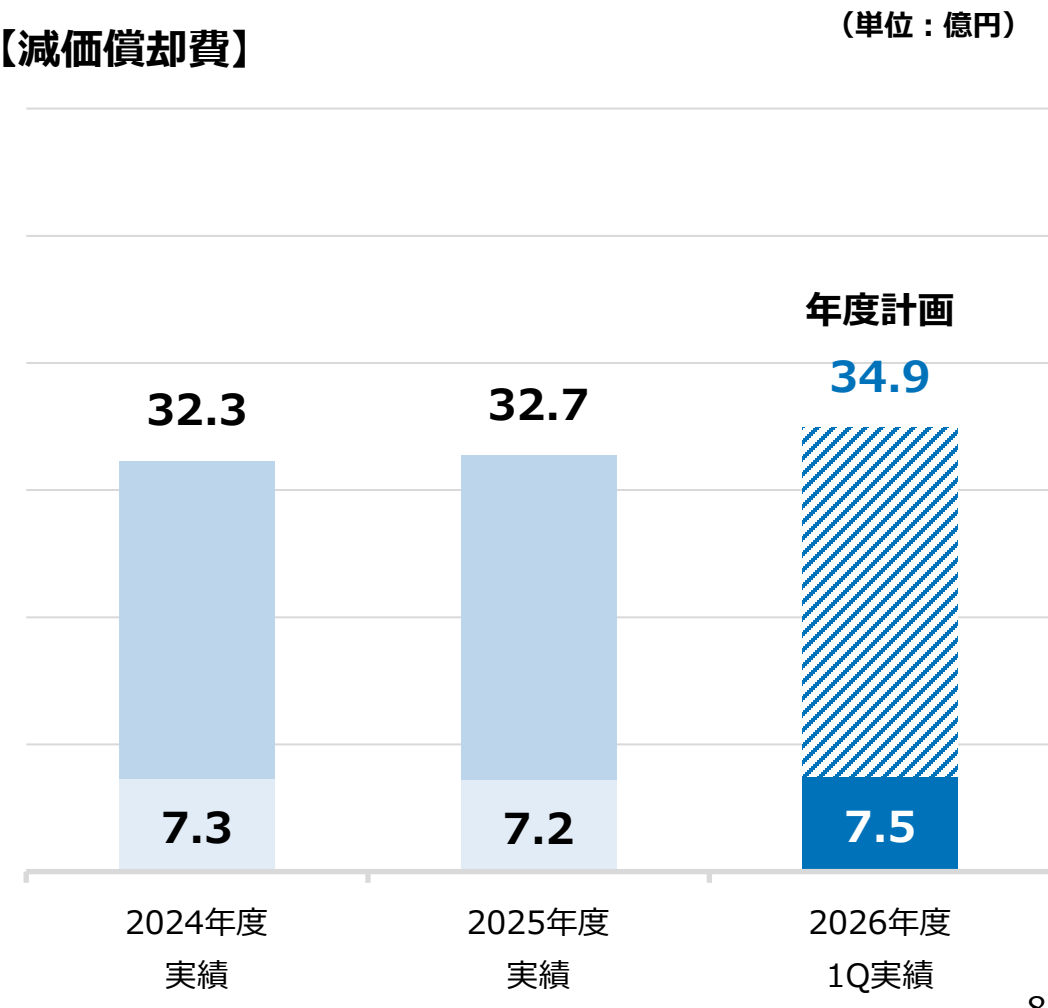
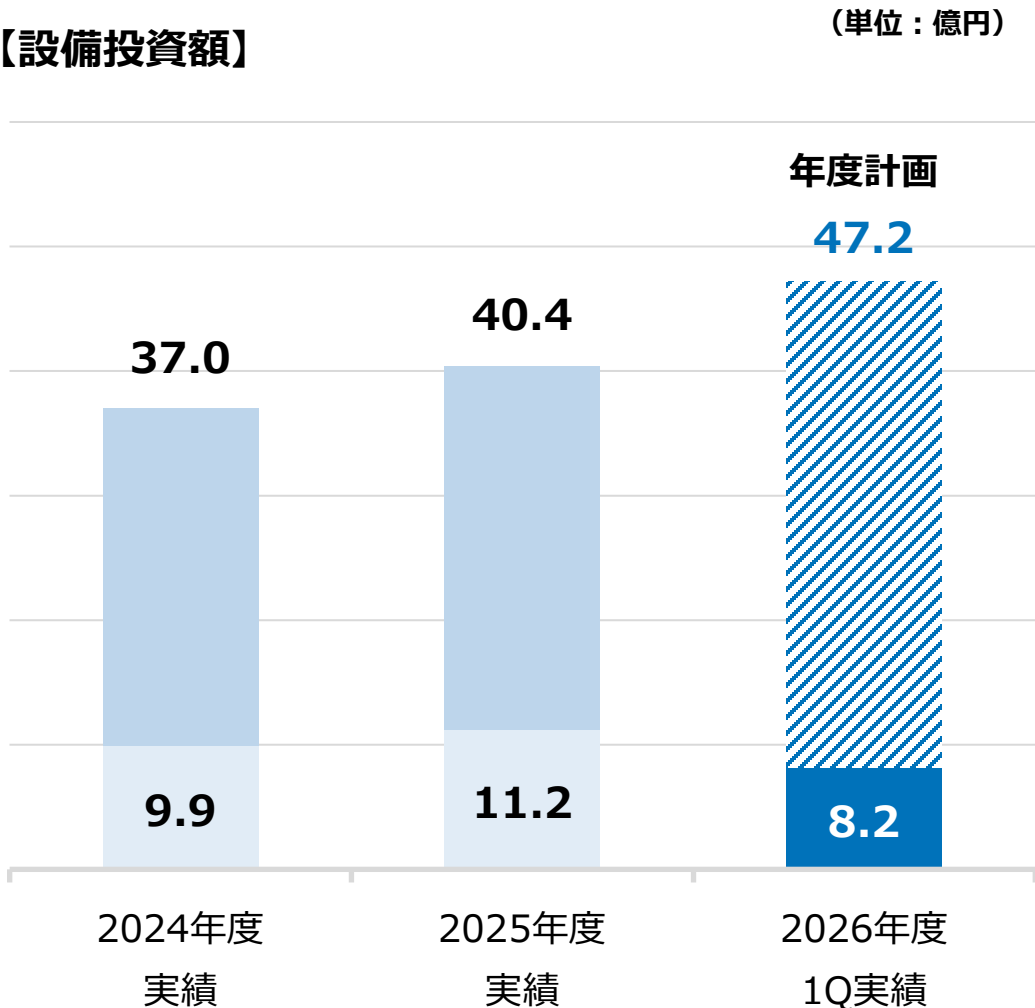
通貨	2025年度 1Q	2026年度 1Q	増減
USDレート (円)	144.59	159.49	+ 14.90
EURレート (円)	163.80	185.39	+ 21.59



対前年同期為替影響額	
売上高	18.4億円
営業利益	10.9億円

通期の為替感応度 (1円影響額/年間)	売上高影響額	営業利益影響額
USD	3.1億円	1.9億円
EUR	0.6億円	0.1億円

設備投資・減価償却費



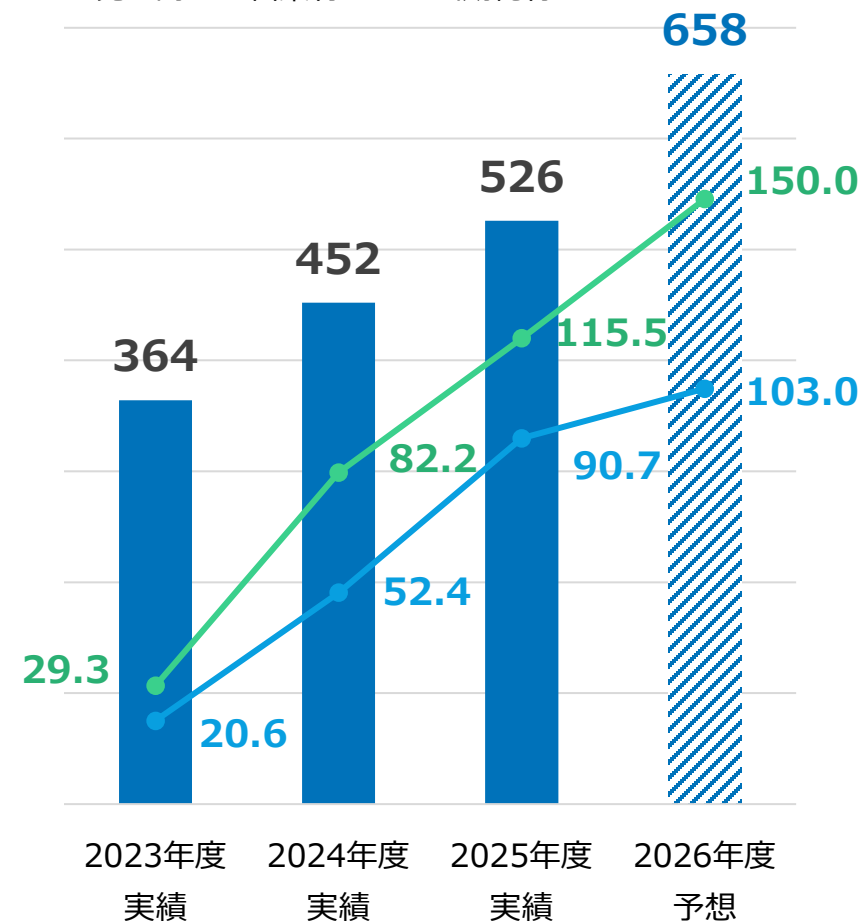
連結 業績予想

中間期及び通期連結業績予想に修正があります

(単位：億円)

(単位：億円)

■売上高 ●営業利益 ●当期純利益



	2025年度 実績		2026年度 予想					
	上期	通期	上期			通期		
			5月13日 公表予想	今回 予想	前年 同期比	5月13日 公表予想	今回 予想	前年 同期比
売上高	267	526	322	359	91	600	658	131
営業利益	64.1	115.5	76.0	93.0	28.8	130.0	150.0	34.4
経常利益	64.9	121.2	75.0	93.0	28.0	128.0	149.0	27.7
当期純利益	46.5	90.7	54.0	64.0	17.4	92.0	103.0	12.2
EPS (円)	252.22	492.25	292.57	346.70	94.48	498.46	557.89	65.64

【2026年度 連結業績予想の前提となる為替レート】

為替レート	2025年度 通期	2026年度 上期	2026年度 通期
USD (円)	150.75	154.00	152.00
EUR (円)	174.76	180.00	177.00

(第2四半期以降の為替レート 1米ドル 150.00円 1ユーロ 175.00円)

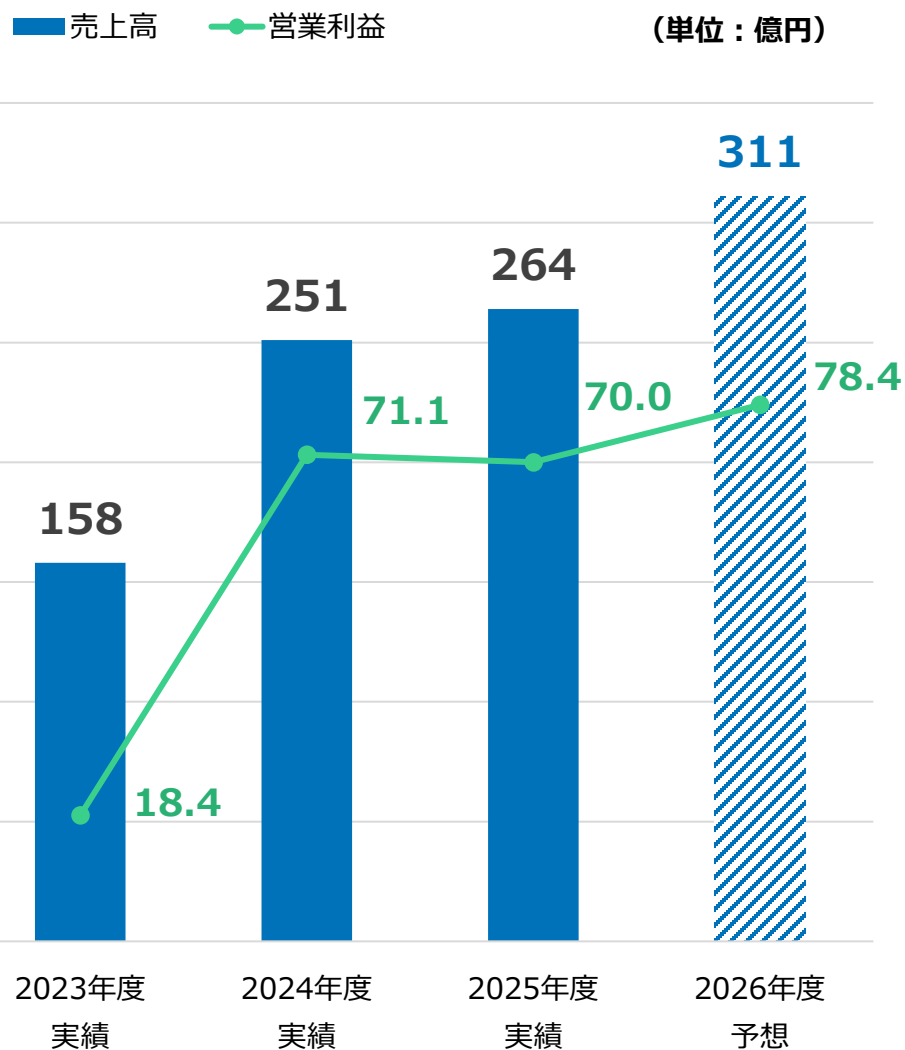
事業別 業績予想

TS事業の中間期売上高・営業利益、CS事業の中間期及び通期売上高・営業利益に修正があります

(単位：億円)

		2025年度 実績		2026年度 予想					
		上期	通期	上期			通期		
				5月13日 公表予想	今回予想	前年同期比	5月13日 公表予想	今回予想	前年同期比
TS事業	売上高	141	264	177	180	38	311	311	46
	営業利益	43.6	70.0	50.2	57.2	13.5	78.4	78.4	8.3
CS事業	売上高	117	247	137	171	53	274	332	84
	営業利益	18.6	44.0	25.0	35.0	16.3	50.0	70.0	25.9
OPT事業	売上高	8	15	8	8	▲ 0	15	15	▲ 0
	営業利益	1.1	2.0	0.8	0.8	▲ 0.3	1.6	1.6	▲ 0.4
その他	営業利益 (連結調整額)	0.6	▲ 0.6	0.0	0.0	▲ 0.6	0.0	0.0	0.6
合計	売上高	267	526	322	359	91	600	658	131
	営業利益	64.1	115.5	76.0	93.0	28.8	130.0	150.0	34.4

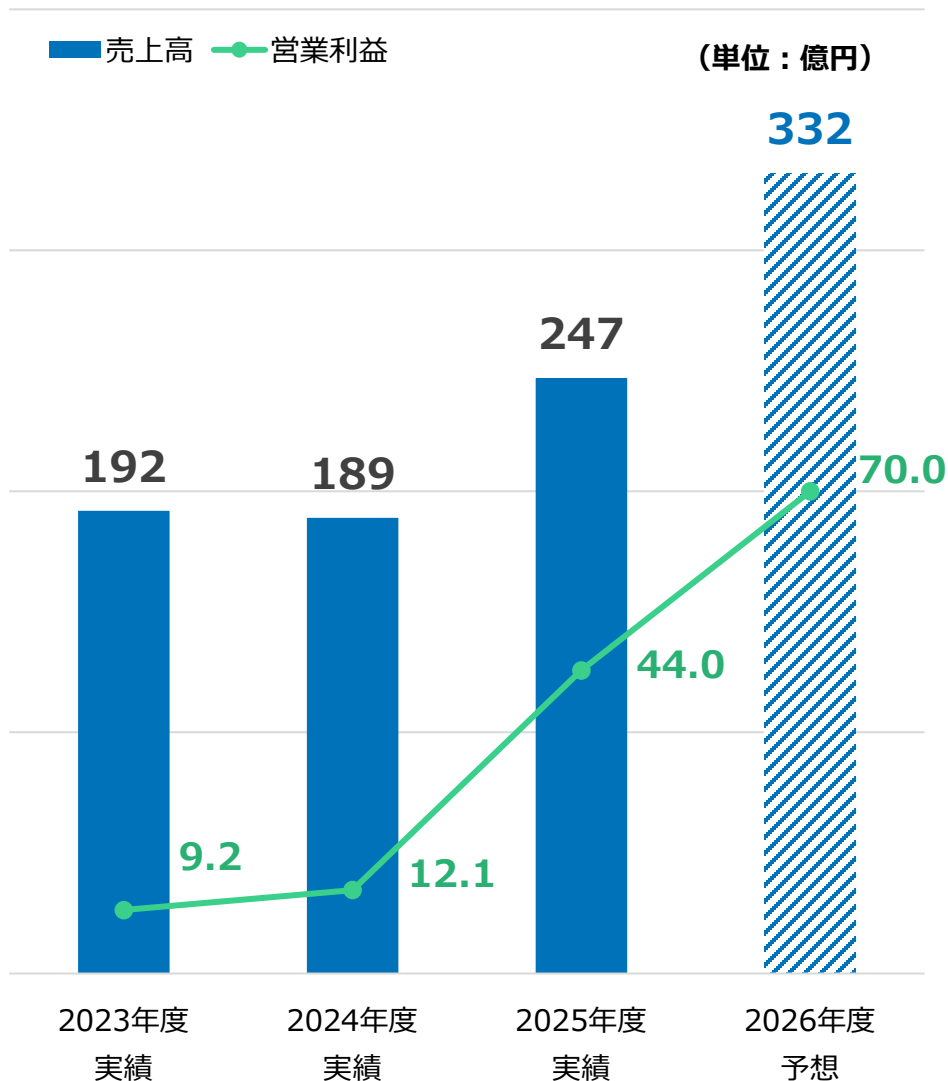
事業別 業績予想【TS事業】



(単位：億円)		2025年度 実績		2026年度 予想					
		上期	通期	上期			通期		
				5月13日 公表予想	今回予想	前年 同期比	5月13日 公表予想	今回予想	前年 同期比
TS事業	売上高	141	264	177	180	38	311	311	46
	営業利益	43.6	70.0	50.2	57.2	13.5	78.4	78.4	8.3

- テスト用ソケット分野では、スマートフォンやPC、ウェアラブル機器、自動車等、幅広いアプリケーションに向けて順調な推移を見込んでおります。
- メモリー半導体用バーンインソケットでは、顧客でのライン増強に向けた投資の継続が想定されることから、順調な推移を見込んでおります。
- ロジック半導体用バーンインソケット市場は設備投資の先送り影響を受けるものの、AIサーバー向けASIC案件への対応や次世代ADAS・ADS向け製品の商談獲得に注力しております。

事業別 業績予想【CS事業】



(単位：億円)		2025年度 実績		2026年度 予想					
		上期	通期	上期			通期		
				5月13日 公表予想	今回予想	前年 同期比	5月13日 公表予想	今回予想	前年 同期比
CS事業	売上高	117	247	137	171	53	274	332	84
	営業利益	18.6	44.0	25.0	35.0	16.3	50.0	70.0	25.9

- 通信機器向けでは、A Iを含むデータセンターへの投資が加速していることに加え、次世代製品の出荷も開始されることから、総じて高い需要を見込んでおります。
- 産業機器向けでは、主要市場である欧州顧客及び半導体検査装置向けにおいて、順調な推移を見込んでおります。
- 車載機器向けでは、EV市場減速の長期化を見込んでおります。

配当の修正について

- 当社グループは、株主の皆様に対する安定的な配当の維持と適正な利益還元を行うとともに、財務体質と経営基盤の強化を図ることを利益配分の基本方針としております。また、当社グループは、2026年5月13日に公表いたしました中期経営計画で配当性向30%を目指すことを公表しております。
- 2027年3月期中間期及び通期連結業績予想の修正に伴い、中間期及び期末配当予想の修正を行いました。ただし、期末配当金につきましては、2027年6月に開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

【（ご参考）年間配当の内訳】

基準日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2026年5月13日公表)	50円	100円	150円
今回修正予想	65円	103円	168円
(ご参考) 前期実績 (2026年3月期)	35円	113円	148円



<https://www.yamaichi.co.jp>

※注意事項

本資料は、2026年8月5日現在の当社グループの事業内容、経営戦略、業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券への投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料に記載した意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更する場合があります。